

少人数体制での事務負担軽減やプロジェクトの可視化を目指し、社内プラットフォームの構築を検討。業務の標準化により「稼ぐ力」を備えた持続可能なまちづくり会社への変革を具体的に計画。

株式会社まつくる				<a href="https://matsukuru.com/">https://matsukuru.com/</a>	
本社所在地	松江市魚町53番地6	資本金	5,100万円	事業概要	松江市中心市街地の活性化と都市再生を目的とした地域密着型の実践型まちづくり
代表者名	中尾 禎仁	従業員数	5名		
設立年	2022年	業種	都市再市営推進法人・コンサルティング		

## 背景

- 少人数体制で多岐にわたるプロジェクトを兼務しており、事務負担が大きく、本来注力すべき企画業務に時間を割けていない。
- 業務が属人的で、情報の共有やプロジェクトの進捗管理が個々の記憶に依存しており、組織としての効率性に課題がある。
- デジタル化が進んでおらずアナログ作業が中心であるため、業務内容の「見える化」が困難で、改善や評価ができていない。
- 持続可能な経営のため、業務効率化で捻出したリソースを新たな収益機会の創出に充てる必要がある。

## 計画の骨子

### 管理ツールの採用と標準化

- ▶ 全プロジェクトの進捗やタスクを一元管理できるツールを導入し、業務の標準化と脱属人化を図ることとした。
- ▶ メンバー間での情報共有を迅速化し、空きリソースの捻出による企画業務へのシフトを加速させる計画を策定した。

### 生成AI活用と人材育成の強化

- ▶ 生成AIによる議事録作成の自動化と、全社的なITリテラシー教育を並行して実施することとした。
- ▶ 事務工数の大幅削減を通じて持続可能な経営モデルを構築し、地域連携プラットフォームへの進化を目指す方針を策定した。